

知りたい、伝えたい、始めたい
私たちがここでできること

平和

開発教育入門セミナー

Think Globally, Act Locally ~ 「足もと」と「世界」をつなぐ ~

要申込
先着80名

日時：2012年6月3日（日）10：00～16：30

場所：京都市国際交流会館 kokoka

公正

- 内容 ●はじめに「開発教育とは？」
●さまざまな手法を用いた参加体験型学習
- A. 「アクティビティを体験しよう！」
 - B. 「コーヒーモノガタリ」
 - C. 「スゴロクのコマから読み取るタンザニア
～知ることから始めよう！～」
 - D. 「マーシャルと日本」

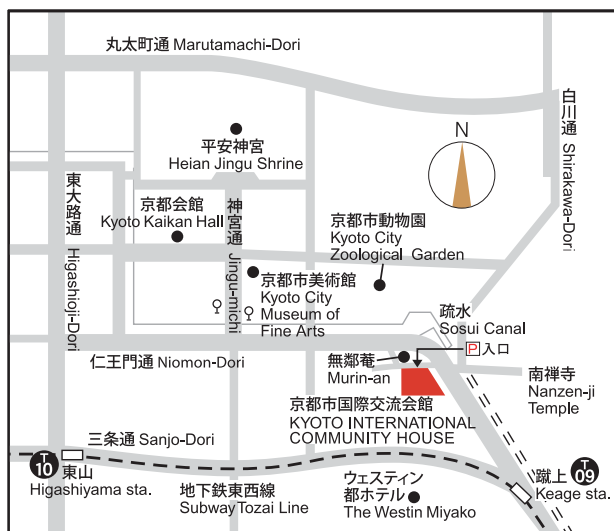
貧困

対象 開発教育に関心のある方

定員 80名（要申込・先着順）

※キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡ください。

参加費 無料（教材の展示・販売があります）



人権

講師 大槻 一彦（京都市立堀川高等学校）
織田 雪江（同志社中学校・高等学校）
金山 顕子（京都府立桃山高等学校）
下村 真世（京都市立久我の杜小学校）
友前 尚子（南丹市立園部第二小学校）
亀山 治夫（京都市立一橋小学校）

*講師は都合により変更になることがあります。

食糧

多様性

申込：HPまたはFAXにて（5/31締切）

（公財）京都市国際交流協会のホームページからお申込みください。

裏面のFAX申込フォームも使えます。ご不明な点は下記連絡先まで。

URL: <http://www.kcif.or.jp/>

E-mail: office@kcif.or.jp

Fax: 075-752-3510 Tel: 075-752-3511

4つのアクティビティの中から2つを選択して参加します。
 AまたはB、CまたはDのアクティビティを申込の際に選んでください。
 *人数の都合により、ご希望に沿えない場合があります。



午前のアクティビティ (AまたはB)

A 「アクティビティを体験しよう！」
 開発教育教材「写真で学ぼう!『地球の食卓』学習プラン10」をもとにして、基本的な参加型学習の手法を体験しながら、私たちの生活と食について考えましょう。
 ・部屋の4隅 ・ラインクイズ
 ・フォトランゲージ ・ロールプレイ

B 「コーヒーモノガタリ」
 or
 開発教育教材『コーヒーモノガタリ』を用いて、エチオピアのコーヒーをめぐる文化、南北問題、モノカルチャー経済について学んだあと、フェアトレードコーヒーを生産するタンザニア・ルカニ村を、写真を通して訪ねましょう。

午後のアクティビティ (CまたはD)

C 「スゴロクのコマから読み取るタンザニア
 ～知ることから始めよう!～」
 「JICA 教師海外研修」で訪れたタンザニアで知ったことを、教師はどのように伝えたのか。また、それが子どもたちの手によって、どのようなスゴロクとして出来上がったのか。
 皆で学び、アクティビティ作りを体験しましょう。

D 「マーシャルと日本」
 or
 マーシャル諸島共和国は、100年間にわたって日本と深いつながりがあります。原発被害に苦しむ私たちと世界について、歴史をひもといてともに考えましょう。

タイムテーブル

10:00 ~ 10:30 「開発教育とは？」
 10:40 ~ 12:50 アクティビティAまたはB(2会場)
 12:50 ~ 13:40 昼休み(昼食は各自持参してください)
 13:40 ~ 15:50 アクティビティCまたはD(2会場)
 15:55 ~ 16:10 開発教育「耳より情報」ご紹介(2会場)
 16:10 ~ 16:30 書籍販売・個別相談

<主催>
 (独)国際協力機構 関西国際センター (JICA 関西)
 (公財)京都市国際交流協会
 <協力>
 関西セミナーハウス活動センター開発教育研究会
 (公財)京都府国際センター

<後援> 京都市教育委員会
 京都市国際教育グローバルキッズ研究会
 京都府教育委員会
 京都市立高等学校国際教育研究会
 京都府高等学校国際教育研究協議会
 京都高等学校国際理解教育研究会
 日本教育新聞社 (申請中を含む)

FAX用申込フォーム

(ふりがな) お名前:		性別: 男 ・ 女	
Tel:	ご希望のプログラムの選択 (いずれか2つを○で囲んでください)	A または B (午前)	C または D (午後)
Fax:			
e-mail:	所属: 記入の上、いずれかに○をしてください (教員・学生・NGO関係者・その他)		
参加動機:		参加回数: 初めて・() 回目	

申込先: (公財)京都市国際交流協会 事業課

Fax: 075-752-3510